

■地元農産物流通促進事業

○事業内容

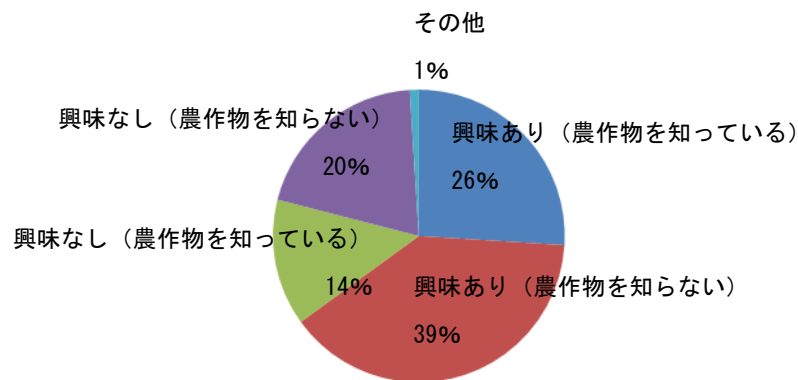
市内で地元農産物の流通促進と消費拡大につながる方向性を検討するため、生産者（農業者）および商業者（飲食店）へのヒアリング調査を実施した。

○ヒアリング実施期間

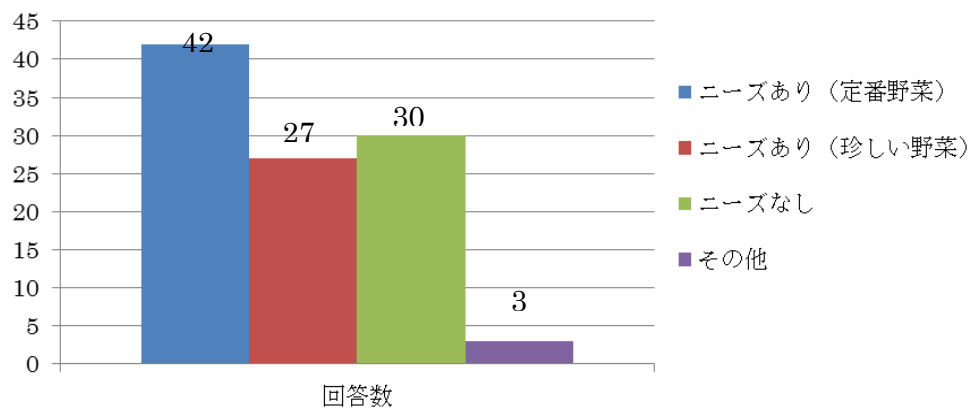
平成26年3月～平成27年3月

●商業者へのヒアリング（対象：市内飲食店80店舗）

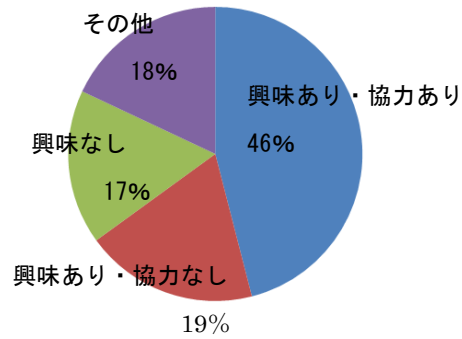
(a) 茨木市の農産物に対する興味



(b) 茨木市内生産されている農作物のニーズ等について



(c) 地産地消（地元農産物）への興味と協力

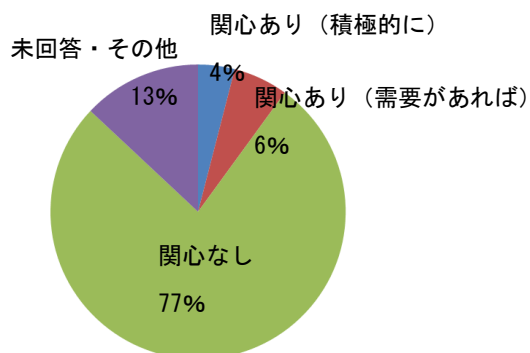


(d) フリーアンケートより

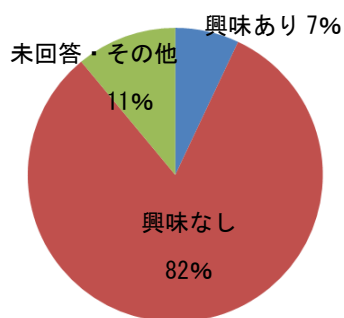
- ・旬の野菜等の情報を定期的に配信してほしい。
- ・地産地消によって低コストが実現できれば嬉しい。
- ・地元の野菜等を使って集客などのメリットがあるなら利用したい。
- ・生産者サイドから季節の野菜等の美味しい食べ方などの提案がほしい。
- ・実際に手に取れて色艶を確認し、美味しいと確認できないと買えない。
- ・スーパーより安くなければ買えない。

● 農業者へのヒアリング（対象：市内農業者 120 件）

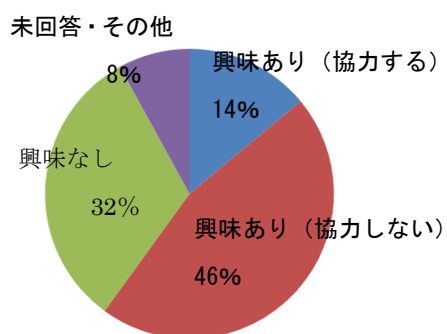
(e) 飲食店などの商業者との直接取引に対する興味



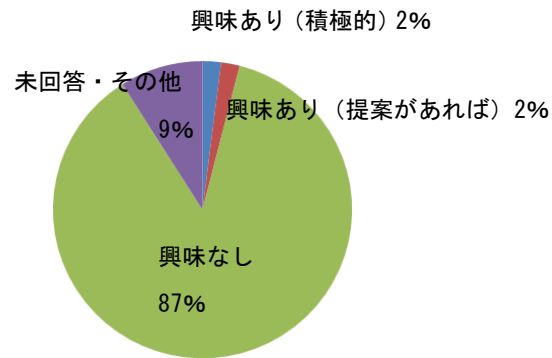
(f) 商業者側からのニーズ等の提案についての興味



(g) 地産地消（地元農産物）への興味と協力



(h) 大学等と連携し、地元農産物を活用した商品開発を推し進めるなど、農産物の加工品開発に関する興味



(i) フリーアンケートより

- ・できた野菜は自家消費や親戚などに配るのみ。
- ・出荷は米のみで、野菜は自家消費の為にのみ作っている。
- ・各種が少量のため、出荷はできない。
- ・後継者がおらず、今以上の生産量は増やせない。

○まとめ

- ・ 商業者へのヒアリング調査では、スーパーマーケット並の価格なら購入の可能性はある、という回答もあるものの、味や品質への不信感を感じさせる厳しい回答が目立った。
- ・ 農業者へのヒアリングでは、自家消費的な生産が主で、卸・小売・飲食店等への販売にはほとんど関心を示さなかった。